

CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京田辺市三山木柳ヶ町計画	階数	地上13階
建設地	京田辺市三山木柳ヶ町43,53,54-1,6	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	150人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年12月 予定	評価の実施日	2013年11月1日
敷地面積	909 m ²	作成者	今吉毅
建築面積	508 m ²	確認日	2013年11月1日
延床面積	3,629 m ²	確認者	来嶋明



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★☆ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記①②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
地域特性に配慮し、敷地内外において豊かな生活環境を形成できるような計画とした。	特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の規格に適合した建築材料を全面的に利用することで、空気室環境について配慮した。	Q2 サービス性能 バリアフリーについて配慮した。
Q3 室外環境 (敷地内) 敷地境界部分に重点的に緑化を行い、良好な環境を形成するために配慮を行った。	Q3 室外環境 (敷地外) 敷地境界部分に重点的に緑化を行い、良好な環境を形成するために配慮を行った。
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし
LR3 敷地外環境 特になし	LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される